

# とよた

## 市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.170



※この図はイメージ図であり、実際とは異なります。

### 表紙の写真と関係議案 (議案第105号関係)

若園交流館の移転新築に伴い、所在地が変更され、使用料等が新たに設定されることとなります。今回の新築整備は、若園中学校(技術科棟)との合築整備となります。

## 9月市議会 定例会号

令和4年11月1日

### 目次

■ トップインフォメーション 常任委員会の行政視察	2
■ 議案審議結果	4
■ 議案説明・討論	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 一般質問 市政を問う! 20人の議員が質問	8
■ トピックス 豊田市少年少女合唱団 議場でグランプリの受賞報告 交通安全啓発活動	12

# トップインフォメーション

常任委員会の

# 行政視察



先進都市の取組を視察し、市に提言していきます。

議会が閉会中でも、議員は地域の課題把握や活動への参加など、様々な活動を行っています。今回ご紹介させていただくのは、各常任委員会で実施した行政視察の内容となります。議員は、市政の課題解決や、将来のまちづくりに向けて、各常任委員会の所管事項(テーマ)について先進都市を視察し、今後の市政に役立てるため、関係する部署へ情報提供をしたり、本会議や委員会での質疑や、提言に生かしたりしています。

## 企画 総務委員会 マイナス入札



視察先とその選定理由

### ●埼玉県深谷市(7月26日)

土地の評価額が建物解体費を下回る場合の差額を市が負担するマイナス入札の実施など、市の未利用財産の活用について積極的に取り組んでいる。

### ●東京都三鷹市(7月27日)

みらいを創る三鷹デジタル社会ビジョン

### ●静岡県富士宮市(7月28日)

富士宮市ゼロカーボン推進戦略

(上記以外)

## 地域生活委員会 平成30年7月豪雨災害からの復興



視察先とその選定理由

### ●広島県呉市(7月13日)

平成30年7月豪雨災害からの復興が進んでいる。復興を進める中、防災・減災を常に意識しつつ、今後起こり得るであろう大規模災害に対する取組を実施している。

### ●京都府綾部市(7月12日)

移住立国あやべ

### ●香川県(7月14日)

水道の広域化

(上記以外)

## 教育 社会委員会

### 博物館事業の取組



視察先とその選定理由

●福岡県北九州市立自然史・歴史博物館(7月27日)

特徴的な展示内容のほか、学校等との連携に向け教員を博物館のスタッフとして配置するなど、特色ある運営方法を採用している。

(上記以外) ●広島県教育支援センター(7月26日)

不登校児童生徒への支援

●兵庫県宝塚市(7月28日)

幼児教育の取組

## 環境 福祉委員会

### 上山型温泉クアオルト事業



視察先とその選定理由

●山形県上山市(7月26日)

市における健康課題を整理し、健康・観光・環境の3分野の活動を通して、まちの財産である温泉や自然を健康づくり及び地域活性化に生かしている。

(上記以外) ●千葉県柏市(7月27日)

長寿社会のまちづくり

●埼玉県さいたま市(7月28日)

脱炭素社会選考地域としての取組  
さいたま再エネプロジェクト

## 産業 建設委員会

### うめきた地区新駅設置事業



視察先とその選定理由

●大阪府大阪市(7月20日)

貨物駅跡地を再開発することで、新駅を中心としたダイナミックなまちづくりを展開し、民間活力を生かした人の集まる空間づくりがなされている。

(上記以外) ●福岡県福岡市(7月19日)

みんなで応援!中小企業元気都市プラン

●兵庫県神戸市(7月21日)

六甲山系の土砂災害対策

※議案名など一部省略して記載しています

9月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
<b>◆議案</b>																			
第96号	民生委員定数条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0									
97	議会の議員及び長の選挙における自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
98	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
99	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
100	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
101	職員懲戒条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
102	職員の育児休業等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
103	職員退職手当条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
104	手数料条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
105	交流館条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
106	都市計画事業豊田四郷駅周辺土地区画整理事業における換地処分に伴う関係条例の整理に関する条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
107	一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
108	令和4年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
109	工事請負契約の締結((仮称)豊田市博物館園路整備工事)	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
110	// (渡刈クリーンセンター基幹的設備改良工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
111	財産の取得(地域包括支援センター業務システム)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
112	// (中央公園第二期整備事業(第1工区)用地(広川町地内))	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
113	// (消防ポンプ自動車)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆承認</b>																			
第5号	令和3年度一般会計決算	認定	27	0	10	0	4	0	2	1									
6	// 国民健康保険特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
7	// 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
8	// 分譲住宅建設事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
9	// 卸売市場特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
10	// 水道水源保全事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
11	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
12	// 介護保険事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
13	// 財産区特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
14	// 後期高齢者医療特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
15	// 産業用地造成事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
16	// 水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
17	// 下水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆同意</b>																			
第5号	教育委員会委員の選任(新任:吉田貴子氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0									
<b>◆報告</b>																			
第6号	経営状況の報告(土地開発公社はじめ18法人)																		
7	専決処分の報告(損害賠償額の決定5件)																		
8	令和3年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告																		
<b>◆陳情</b>																			
第10号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書																		
12	防衛省によるマンマー国軍士官・士官候補生の受け入れ中止を求める意見書の提出を求める陳情書																		
13	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書																		
14	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために豊田市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書																		
15	コロナ禍における医療従事者及び保健所職員様達への功労に関する陳情書																		

## 条例の改正、補正予算など18議案を議決。そのほか承認案件などを審議。

### 令和3年度 一般会計決算を認定

#### 【承認第5号】 令和3年度一般会計決算

令和3年度歳入決算額は、2,090億7,904万円(対前年度比442億円1,966万円の減)となりました。主な減少の要因は、特別定額給付金給付事業を始めとした国庫支出金(対前年度比334億963万円の減)です。市税は961億4,285万円(対前年度比108億942万円の減)となり、主な減少の要因は法人市民税91億514万円の減です。

歳出決算額は、1,948億5,352万円(対前年度比446億円612万円の減)となりました。主な減少の要因は、豊田地域医療センター再整備費の減などです。

財政の健全性を示す指数は、経常収支比率83.5パーセント、自主財源比率65.0パーセントであり、健全化判断の各比率は健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持している状況といえます。



9月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。\*発言順に記載

#### 根本美春 諸派

**令和3年度一般会計決算は、教育や福祉分野の公的責任を後退させる危険性から、反対。**

承認第5号:反対。歳入のうち、法人市民税は大企業が税法上の軽減措置を受ける一方で、多くの小規模事業者は法人税割の税金が納められず、抜本的な対策が必要である。歳出においては、市の感染症予防課職員の残業時間数が多く、職員の増員を訴える。また、再開ビルKITARAの出店状況や、豊田スタジアムの管理や整備等の市の持ち出し分が17億円以上に及ぶなど、これまでの再開発事業や施設管理の在り方の検証が必要である。

決算の内容では、市の公的な仕事を民間に継続して委ね、教育や福祉分野の公的責任が後退し住民福祉の向上と離れていく危険性から、反対。

#### 榎屋小百合 公明党

**一般廃棄物の軽減及び適正処理に関する条例の一部改正は、適正なごみの削減につながることを期待し、賛成。**

議案第107号:賛成。ごみ処理施設に直接搬入する際の処理手数料は、提供した役務の対価であることから、受益者負担が原則である。しかし、現状は処理原価との乖離が大きくなっていることから、環境審議会の答申等を踏まえ、家庭系・事業系ともに同額とし、増額の改定は適正である。また、近年は燃やすごみが増加していることから、今回の処理手数料の改定により、市民のごみ減量意識が高まり、結果としてごみの削減につながることを期待し、賛成。

#### 窪谷文克 自民クラブ

**令和3年度一般会計決算は、基金や市債を有効に活用し、健全な財政状況が維持されていることを評価して、賛成。**

承認第5号:賛成。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなったが、ワクチン接種を始めとした感染拡大防止対策や、市独自の事業者支援策の展開などを評価する。また、市税収入は減収となったが、基金や市債を有効に活用し、地域医療センターの再整備や(仮)豊田市博物館の建設、若林駅付近連続立体交差事業等、将来のまちづくりに必要な整備を計画的に実施するとともに、安全安心なまちづくりが推進された。各種財政指標は他市と比較して健全な財政状況が維持されていることを評価し、賛成。

#### 岡田耕一 諸派

**民生委員の定数は、規則委任されても国の法令の範囲を超えることはないことから妥当と認め、賛成。**

議案第96号:賛成。従来、条例改正のスケジュール上、自治区業務が多忙な年度当初に各自治区と推薦数を協議・決定する必要があった。しかし、民生委員の定数を規則委任することで、自治区における候補者の人選等を余裕をもって行える。また、全国の中核市では、本市以外の61市のうち、15市が既に規則委任しており、条例上は国の参酌すべき基準を定め、規則ではその範囲内で定数を定めるため、民生委員の定数は法令の範囲を超えることはない。以上のことから、妥当と認め、賛成。

#### 塩谷雅樹 市民フォーラム

**令和4年度一般会計補正予算は、家庭や企業の負担を軽減していく取組を評価し、賛成。**

議案第108号:賛成。今回の補正予算は、長引くコロナ禍や世界的情勢不安による物価とエネルギー価格の高騰の影響に対して、市民及び事業者を支援することが目的であり、高騰分を給食費の値上げに転嫁しないことや、省エネ設備の導入支援ならびにエネルギー消費量削減を図ることなど、困難に直面する家庭や企業の負担を軽減していく取組を評価する。今後も、市民と事業者に寄り添い、適時適切に対応していくことを期待し、賛成。

#### 中島竜二 諸派

**育児休業制度の緩和は、子育てしやすい環境づくりに重要なことから、賛成。**

議案第102号:賛成。男性職員による育児の促進や女性職員の活躍促進をさらに進めるための方策の一つとして、育児休業制度を緩和し、子育てしやすい環境づくりを進めることは大変重要であると理解できる。本市でも男性職員の育児休業取得率は向上しているが、女性職員と比べてまだ低い水準にあり、また、休業期間も短い状況にあるため、引き続き取得しやすい環境づくりを進めてもらうことを期待し、賛成。

# 常任委員会

**常任委員会とは** 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、次の6委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

9月16日、付託された2議案を審査し、議案の全てを承認しました。

**【第112号】財産の取得(中央公園第二期整備事業(第1工区)用地(広川町地内))**

**質問** 中央公園全体における現在の事業進捗状況と、第1工区の今後のスケジュールはどのようなか。

**答弁** スポーツツーリズムの戦略的展開と連携を目的に、中央公園第二期整備区域23.5ヘクタールのうち、第1工区の4.6ヘクタールを先行整備区域とし、そのにぎわい創出など、整備効果の状況を踏まえ、次期整備区域の事業化の時期を考えていく。第1工区については、用地取得を進めるとともに、基盤整備及び施設整備をそれぞれ2年程度見込み、アジア大会開催年である令和8年までの整備完了を目標に鋭意取り組んでいく。



豊田スタジアム

## 環境福祉 委員会

9月20日、付託された4議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

**【第107号】一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正条例**

**質問** 手数料の見直しにより期待する効果はどのようなか。

**答弁** 近年増加している刈草剪定枝のリサイクルを促進するため、民間でのリサイクルを進めたいところだが、民間事業者は、市の設定する手数料を超える料金を受けられないという法律の規定があり、民間でのリサイクルが進んでいない。今回手数料を改定することで、民間事業者でのリサイクルへ誘導することが可能となり、カーボンニュートラルや循環型社会への貢献が期待できる。また、県内他市と同程度の手数料になるため、他市からのごみの流入の懸念がなくなると考える。

**【第111号】財産の取得(地域包括支援センター業務システム)**

**質問** 業務システムを更新する狙いと効果はどのようなか。

**答弁** システム導入の主な目的は、作業の効率化を図ることにより地域包括支援センター職員の業務時間の確保につながることである。その効果として、地域包括支援センター本来の業務である個別支援にかかる時間が確保され、更に充実した支援を行うことにより、市民福祉の向上につながる事が挙げられる。また、モバイルパソコンを導入することで、訪問先から福祉サービスを電子申請できるようになり、利便性の向上が期待できる。

## 教育社会 委員会

9月21日、付託された2議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。他に陳情3件を報告しました。

**【第105号】交流館条例の一部改正条例**

**質問** 部屋の使用料は、その大きさにより決定されると聞いているが、調理室、和室、工作室はこれまでよりも広くなり、使用料は高く設定されることになるが、地域住民への周知方法及び今後の料金の考え方はどのようなか。

**答弁** 使用料については、交流館ホームページや館報などにより周知を図っていく。使用料は定められた単価と部屋の面積に基づき算出しており、部屋を広く使用できることは学校との合築のメリットと捉えているが、利用者から利用方法に関する意見があれば、検討することも考える。

## 地域生活 委員会

9月22日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

**【第113号】財産の取得(消防ポンプ自動車)**

**質問** 現行車両の処分方法は、車両として売却する予定だが、過去の対応と、現行車両を売却するに当たり、緊急自動車が悪用されないための対策などはどのようなか。

**答弁** 令和2年度までに処分した車両は、国から国際協力事業としての依頼を受け、海外への寄贈を行い、寄贈対象外の車両は、金属資源として売却を行ってきた。悪用防止の対策としては、国からの通知に基づき、解体等を目的とした抹消登録を行うとともに、消防本部の名称、車体名称表示の消去、赤色灯、サイレン及び無線機を撤去した後に売却している。



消防ポンプ自動車

## 企画総務 委員会

9月26日、付託された8議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第98号】行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正条例

**質問** 行政手続をオンライン化することにより、市民及び行政にとって、どのようなメリットがあるのか。

**答弁** 市民にとってのメリットは、時間や場所にとらわれることなく申請を行うことができ、書類を手書きする手間や、窓口へ出向く時間・コストを削減できることである。行政にとってのメリットは、情報がデータで届くことにより、システムへの取り込みをはじめ、事務作業の効率化につながることである。

【第104号】手数料条例の一部改正条例

**質問** 現在の生産緑地の面積及び筆数のうち、特定生産緑地証明の対象となり得る特定生産緑地は、どの程度指定される見込みか。

**答弁** 令和4年3月末時点で、指定から30年を迎える生産緑地は約43ヘクタール、約870筆あり、そのうち、特定生産緑地に指

定される生産緑地は約31ヘクタール、約570筆の見込みである。

## 予算決算 委員会

9月13日から28日まで、付託された補正予算1件、各会計決算13件を審査し、全ての案件を承認し、又は認定しました。

【承認第5号】令和3年度一般会計決算

＜歳出10款8項6目 社会体育費＞  
世界ラリー選手権開催推進費

**質問** トヨタガズレーシングラリーチャレンジや、フォーラムエイト・セントラルラリー2021の開催による経済効果の評価はどのようなか。

**答弁** 昨年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、世界ラリー選手権の開催が中止になる中での開催となったが、ラリーチャレンジの拠点となった鞍ヶ池公園には約1万人、セントラルラリーの拠点となった豊田スタジアムには約7,500人の観客が訪れた。また、ラリーチャレンジには90チーム、セントラルラリーには61チームが全国から参加し、これらの参加チームと競技スタッフを対象に主催者と連携し、市内宿泊施設を案内した結果、ラリーチャレンジでは延べ1,000泊、セントラルラリーでは延べ1,500泊、市内に宿泊していただいた。今回は、観客の消費額を含めた大会全体の経済波及効果の分析は実施していないが、宿泊需要の創出や宿泊に伴う飲食での消費など、ラリー競技開催による経済効果は高いと評価している。

＜歳出14款 予備費＞  
予備費全般

**質問** 予備費活用の内訳と執行までの手続の流れ、申

請件数及び評価、今後の予備費確保の必要性への認識はどのようなか。

**答弁** 予備費活用の内訳としては、新型コロナ対応として1億8千万円余、災害対応等の新型コロナ対応以外が8千万円余であった。執行の手続については、規則に定められたとおり、各部局から予備費充用の何書が提出され、企画政策部副部長の決定により充用するが、令和3年度の予備費充用の伺いは17件で、全件充用を決定した。緊急に追加実施が必要となった事業へ予備費を充用することにより、迅速に対応することができたと評価しており、新型コロナの感染状況や対応が見通せないという状況が変わらない場合は、予期せぬ事態に迅速に対応する備えとして、通常分の予備費からの増額は必要であると認識している。

【承認第16号】令和3年度水道事業会計決算

**質問** 維持管理における衛星・AIの活用状況と今後の取組はどのようなか。

**答弁** 衛星・AIを活用した維持管理への活用状況としては、衛星を活用したAI漏水調査及びAIを活用した水道管劣化予測の結果を水道ストックマネジメント計画に反映し、管路更新計画の精度向上に活用している。また、緊急時の漏水調査においても、漏水箇所の早期発見及び修繕につなげている。今後の取組としては、衛星を活用した漏水調査では、現在、実証実験を実施しており、更なる精度向上に努めていく。また、AI劣化予測は解析するデータが多いほど精度が向上することから、引き続き、漏水修繕等のデータを蓄積していく。



## 市政を問う!

9月5日から7日にかけて、20人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

杉本 寛文

自民クラブ



- 将来にわたる持続可能な水道事業経営のあり方
- 豊田市地域公共交通計画の策定

質問

次期豊田市地域公共交通計画の推進

ミライの公共交通をどのように捉え、次期計画をどう進めていくのか、市長の思いを問う。

答 弁

市 長

MaaSやCASEといった先進技術は公共交通の課題解決に寄与すると期待するが、実装には未だ時間がかかる。まずは豊田市つながる社会実証推進協議会の中で、新たな技術の実装に向けた取組に挑戦しながら、できるものから着実に進めていく。また、現在開発が進んでいる空飛ぶクルマや自動運転車両なども、将来は都市部・山村部において活用ができる選択肢の一つになると考えている。少し先の未来を見据え、関係者一丸となり新たな交通まちづくりを推進していく。



空飛ぶクルマ(イメージ) ©Sky Drive

田代 研

公明党



- 子どもの幸せ最優先に考える豊田市へ
- 狭隘道路の解消

質問

小・中学校での各種対応策

児童生徒の熱中症対策として、また災害時には避難所になり得る小・中学校の体育館へのエアコン設置や断熱対策を提言するが、市の見解を問う。

答 弁

教 育 部

体育館のエアコン設置は、建物空間の広さなどにより、多額の設置費用と維持管理費が必要となる。本市における体育館のエアコン設置については、議員から提案のあった断熱対策も含め、導入自治体の状況把握や使用頻度等も考慮して費用対効果や環境への影響などを考慮の上、総合的に判断していく。

岡田 耕一

諸派



- 豊田市駅周辺実証実験
- 本市のさらなる脱炭素社会に向けた取組

質問

今後の方向性

豊田市駅東口の駅前広場整備に向けて、関係地区も含めた地元説明会やパブリックコメントの実施など、市民の声をどのように集め、それをどのように生かしていくのか、市の考えを問う。

答 弁

都 市 整 備 部

駅前広場整備に関する市民意見聴取については、9月に実施する交通実証実験やとよしば等で実施している広場機能の実証実験において利用者意見を確認するほか、関連のある第4期中心市街地活性化基本計画の策定に向けたパブリックコメントや関係者へのヒアリングなどを活用して行い、その意見等を参考に市民ニーズを捉え、駅前広場整備に生かしていく。

作元 志津夫

市民フォーラム



- カーボンニュートラルの着実な推進に向けて

質問

脱炭素先行地域に向けて

環境省が次の時代への移行戦略

として目指す脱炭素先行地域の採択に向け、再トライすべきと考えるが、これまで他市をリードしてきた市の考えを問う。

答 弁

企 画 政 策 部

脱炭素先行地域への採択は、既存技術で民生部門の取組を加速する上では有効な制度であるが、本市が官民連携で推進する先進技術を活用した取組を加速させるためには、先行地域選定以外の選択肢も含め検討することが必要と考える。今後の脱炭素施策の推進に向けては、脱炭素先行地域の支援制度の活用も視野に入れながら、本市が取り組んできた先進的な環境・エネルギーの取組への支援制度として最適な制度を選択し、活用していく。

寺田 康生

自民クラブ



- 持続的な社会を支える環境配慮行動の促進
- 子どもにやさしいまちづくりの推進

質問

地域の担い手となる  
子どもの育成

子ども条例が制定された際、市内の子どもたちが検討に加わったように、子どもたちの意見を地域に生かす方策について、市の見解を問う。

答 弁

子 ども 部

現在も、子どもたちが地域の中で活動したり、意見表明をしたりする事例がある。例えば、旭地区では、令和元年度から旭中学校が旭中地域会議を開催し、地域課題や解決策を地域会議に発表したり、解決策をわくわく事業で実践したりしている。子どもたちが自らの住む地域で意見表明をする機会や活動をする機会があることは、子ども条例の制定趣旨に沿うものであり、こうした取組が広がるよう努めていく。



※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

**中島 竜二**

諸派



- 子どもにやさしい市政をめざして
- PTA運営のあり方

**質問** 子ども目線の施策推進

子どもの声を聴くだけでなく、政策に反映させることが重要である。今後どのような取組が必要と考えるのか、市の見解を問う。

**答 弁**

子ども部

子どもに関する事業については、直接子どもの意見を聴き、事業に反映する工夫をすることが重要であると考えている。また、市の担当課が子どもの意見を聴く機会を増やすことも重要であると考えており、市内の高校生のアイデアが市の課題解決に向けた取組として実現した例もある。

市の担当課が子どもの意見を聴く機会が増えることで、それらが生かされる可能性も広がるため、こうした機会を増やす取組を積極的に進めていきたい。

**石川 嘉仁**

自民クラブ



- 南部地域における幹線道路整備と土地利用
- 地域防災力の更なる向上

**質問** 南部地域の土地利用

南部地域の居住環境の維持保全を図るための課題とその考え方について、市の見解を問う。

**答 弁**

企画政策部

南部地域においては、市街化調整区域内の集落に多くの方が居住する中で、既存店舗の閉店などもあり、一部商業施設が一定の範囲内にないため、商業施設を利用しにくい地域もあることを認識している。また、人口減少化の将来を見通すと、今後

も空き店舗や業務用地等の跡地が発生することも考えられる。これらを踏まえ、市街化調整区域の集落における快適な生活の利便性確保については課題と捉えており、将来を見据えたコミュニティ維持のあり方の整理が必要と考えている。

**海老澤 要造**

自民クラブ



- 豊田市再犯防止推進計画
- おいでん・さんそんプランの子育て世代の定住

**質問** 官民あがての移住・定住の促進

山村地域の目標人口の達成に向けた移住・定住施策の推進について、市の考え方を問う。

**答 弁**

企画政策部

おいでん・さんそんプランに掲げる目標の達成を目指し、地域と連携して、子育て世代を中心とした移住・定住を促進するため、空き家の活用に関連する補助の拡充を図るなど、適宜、制度を見直ししながら取組を進めてきた。今後も、庁内横断組織であるおいでん・さんそん推進本部を中心に、ニーズや社会環境の変化などを的確に捉えて、取組の成果や課題を確認し、新たな取組の追加や見直しなどを行い、移住・定住施策を推進していく。

**山本 義勝**

市民フォーラム



- 環境変化に対応する消防の取組

**質問** 先進技術を活用した消防力の強化

消防隊員自身が救助のために、直接建物内に入る際に先進技術を活用することが必要と考えるが、本市の取組を問う。

**答 弁**

消防本部

安全の確保や効率的な消防活動に繋がる技術は必要であると考えており、資機材等の導入については、導入に係る要綱に基づき効果や運用上の課題、コストなどを総合的に踏まえて判断している。なお、隊員の安全確保については、熱を可視化できる携帯型の赤外線サーマルカメラや、屋内に侵入することなく火災が発生している室内の冷却が可能な防水用資機材(フォグネイルシステム)を導入している。



赤外線サーマルカメラ

**根本 美春**

諸派



- 災害から命と暮らしを守る対策
- 新型コロナ感染症第7波から命を守る対策

**質問** 避難所における良好な生活環境の確保

今年、国から出された通知では、避難所における防災機能設備として冷暖房機器が挙げられている。避難所となる学校体育館には、熱中症対策としてエアコンの設置が必要と考えるが、設置について本市の考えを問う。

**答 弁**

地域振興部

避難所となる体育館のエアコンの設置については、現在、小・中学校の体育館に設置されている冷風機や、令和元年度に設置された普通教室のエアコンなどを有効活用して対応することを考えている。

# 一般質問

## 市政を問う!

議員氏名  
会派名



QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

宮本 剛志

自民クラブ



### ●豊田市公共施設等総合管理計画

**質問** 持続可能なメンテナンスの実現

公共施設・インフラの老朽化対策に向け、現況と将来見通しを明らかにするなどの中長期的な予算管理の必要性を問う。

**答 弁**

企画政策部

中長期的には、人口減少の影響などにより、財政状況が厳しくなる一方で、施設の老朽化や更新時期の到来に伴い、2030年代後半以降には、現状の2倍以上の経費を要する見込みである。全国各地で適切なメンテナンスが実施されていないことに起因する事故が発生している状況もあり、中長期を見据えた予算管理は重要だと認識している。持続可能な行政経営に向けて投資効果を適切に判断し、中長期的な予算管理の下で施策の推進を図っていく。

中尾 俊和

市民フォーラム



### ●ヤングケアラー支援に向けた取組

**質問** ヤングケアラーの支援につなげる取組

ヤングケアラーの早期発見・把握に向けて、子どもを見守る人たちの気づきが重要であり、市の取組について問う。

**答 弁**

福祉部

早期発見や把握に結び付けるツールとして、アセスメントシートを活用した取組を進める。アセスメントシートは、第三者でも気づける子どもの様子・状況や子どもの権利の侵害がないか等の視点が盛り込まれたチェックシートで、本市では、国のひな型を参考に、教育機関等でより柔軟

に活用できるよう内容を見直す。学校や児童・福祉の関係者等がアセスメントシートを活用することにより、ヤングケアラーの早期発見・把握への取組を進めていく。

榎屋 小百合

公明党



### ●認知症フレンドリー社会を目指して

**質問** 「予防」の取組

他自治体の例からも認知症検診による効果は明らかと考えるが、検診の導入について、市の考えを問う。

**答 弁**

福祉部

認知症の早期発見・早期対応は、適切な治療やケア、支援により症状の改善や進行を緩やかにする効果が期待できることから、大変重要であると認識している。

一方で、認知症検診の導入については、検診を実施する医療機関の確保や市民への周知、医療や介護サービスへつなげる連携体制の構築等も必要なことから、引き続き国や他自治体の動向を注視し、有効な手法を調査していく。

中村 孝浩

市民フォーラム



### ○未来を見据えた在宅療養の充実 ○FIA世界ラリー選手権の継続開催を目指して

**質問** FIA世界ラリー選手権の推進

FIA世界ラリー選手権とその開催見通しについて、海外視察によるフィンランドの状況も踏まえ、市長の想いを問う。

**答 弁**

市長

今年の8月にラリー・フィンランド大会を視察訪問し、開催拠点であるユバスキュラ市の市長とも意見交換

を行い、WRCの開催が観光需要の創出や企業誘致に貢献するなどの話をしていた。

また、FIAやWRCプロモーターとの協議では本市への高い期待が示されるなど、開催決定への手応えを感じた。今後、市議会の特別委員会からの提言を受け、視察で得た体験や11月のラリージャパン開催で得る経験を生かし、着実に進めていく。



2022年WRCフィンランド大会  
©WRC Promoter GmbH

深津 秀仁

自民クラブ



### ●地域に根差した地域交通 ○小・中学生の安全安心な通学の確保

**質問** 地域の実情に応じた地域交通

地域の生活交通は、高齢者の移動支援だけでなく、通学支援の役割を持つ。高校生の通学手段の確保について、市の考えを問う。

**答 弁**

都市整備部

高校への通学は、地域外への移動を伴うことが多く、鉄道や基幹バスなどの基幹交通にどのように接続するかが課題となる。地域内にある基幹交通との結節点への接続は、地域バスなどの生活交通がその役割を担っていることから、例えば、朝の通学時間帯におけるデマンドバスの予約は高校生を優先するなどの取組も考えられる。徒歩や自転車、保護者の送迎なども含め、自助・共助・公助の考えの下、取組を進めていくことが重要である。

○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)  
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局長  
質問に対する市の担当部局の回答

### 深津 眞一

自民クラブ



- 少子化対策に生かす環境整備
- データを活用した市政運営に向けて

#### 質問 結婚がしたい人への支援

全国でAI婚活の積極的取組が展開されており、本市でも民間連携のAI婚活の導入を提案するが、市の考えを問う。

#### 答弁 子ども部

現在、AIを活用した婚活に自治体に関わる事業の多くは、県が主体となっている。また、内閣府の少子化社会対策大綱の推進に関する検討会の中間報告においても、「複数の地方公共団体が連携して行う広域的な結婚支援を推進する」とあり、婚活は広域で取り組むほど効果があると認識している。このため、AIを活用した婚活を本市独自で導入することは考えていないが、愛知県の動向を注視するなど広域的視点で考えていく。

### 浅井 保孝

自民クラブ



- 地域・福祉の人材確保

#### 質問 地域人材の確保

区長の仕事に工事申請があるが、今後、直接本庁に出向くことなく申請を可能にするなど、デジタル技術の活用をどう進めるか、市の考えを問う。

#### 答弁 地域振興部

令和4年度からデジタル技術を活用した実証実験を浄水地区・美里地区で行う予定である。両地区の全区長にタブレットを貸与し、市や区長間の連絡のほか、ペーパーレス化やリモート会議などの実験を行い、令和6年度以降の本格導入の可否を決定

する。また、各種申請について、あいち電子申請届出システムを活用し、窓口に来ることなく申請事務手続きをできるようにするなど、自治区長の事務負担軽減につなげていく。

### 深谷 とおる

自民クラブ



- 郷土資料写真のデジタル化管理の推進
- 写真動画管理システムでの市政情報の見える化

#### 質問 郷土資料館での貴重写真の管理状況

まちの変遷を伝える写真の調査活動を新博物館においても継続してほしい。今後の調査や活動方法について問う。

#### 答弁 生涯活躍部

写真は、何よりも雄弁に本市の歴史・文化・自然の様子を物語る資料であるため、地域にとっても貴重な資料と考える。これまでも、展覧会や市史編さん事業などにおいて、写真を含めた資料の調査や収集を行ってきた。今後も新博物館の使命である「市民と共に豊田市の歴史・文化財・自然を発見し、守り、未来へ伝える」ことを念頭に、貴重な財産として市内に残る写真・動画を収集し、活用していく。



本市最古の写真  
(丹羽兼吉氏の肖像)

### 塩谷 雅樹

市民フォーラム



- 子育て環境の充実に向けた取組

#### 質問 子育てしやすいまちづくりへの取組

今後も本市が子育てしやすいまちとして、持続可能な都市としてい

くために、市長が描く未来への想いを問う。

#### 答弁 市長

本市はこれまで、子育て支援センターの整備、保育料の減額と多子軽減、官民連携によるこども園等の定員拡大を始めとした様々な事業を展開し、市民から一定の評価をいただいていると考えている。子どもの利益を第一に考える先駆的な取組を進めてきた強みに加えて、市民力、地域力、企業力の強みをさらに生かし、引き続き、親目線と子ども目線のバランスの取れた取組によって、子育てと子育てにやさしいまちづくりを進めていく。

### 倉山 和之

市民フォーラム



- デジタルによる快適で便利なまちづくり

#### 質問 市民へのデジタル化促進

マイナンバーカードのICチップ空き領域を活用した、独自サービスに向け検討を進めるべきと考えるが、市の見解を問う。

#### 答弁 総務部

本市でのマイナンバーカードの交付枚数率が5割を超えていることを踏まえ、更なる交付促進に向けても、マイナンバーカードを活用した市民サービスの向上に向けた具体的な取組を整理する必要があると認識している。他自治体では避難所の受付確認や高齢者のタクシー券への活用など多角的に活用されており、先進事例に学ぶとともに、本市でも庁内横断的な組織を設置し、具体的な活用方法について議論を進めていく。

## 豊田市少年少女合唱団 議場でグランプリの受賞報告

8月29日(月)の夕刻、今年の7月に開催された第4回東京国際合唱コンクール(ユース部門)にてグランプリを受賞した豊田市少年少女合唱団が議長と市長を訪問し、結果報告がされました。当日は、議場にて合唱団からの受賞報告とあわせコンクールで歌われた曲が議員や保護者などに披露され、議長からは受賞に対する祝福と今後の活動に向けた激励の言葉が送られました。



合唱団に祝福と激励を述べる議長



議場で美しい歌声を披露する合唱団

## 交通安全啓発活動

9月2日(金)、9月市議会定例会開会日の本会議終了後、議員による交通安全啓発活動を実施しました。

一人でも多くの市民に交通安全の意識を高めてもらおうと、市長はじめ特別職、幹部職員及び豊田警察署長の参加も得て、啓発活動に取り組みました。



市役所南庁舎前で実施された交通安全啓発活動

## 市議会の予定 12月市議会定例会は12月2日(金)開会予定です

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>

豊田市議会 検索 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



『市議会だより』のバックナンバーや  
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から  
閲覧できるようになりました。

※/パケット通信が必要になりますので、  
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を  
おすすめいたします。



## ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、  
また、市議会へのご意見・ご要望もお受けし  
ていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

**豊田市議会事務局**

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)